

**製品名: RAD50 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81643**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	154kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RAD50
別名	NBSLD; RAD502; hRad50
遺伝子 ID	10111.0
SwissProt ID	Q92878
免疫原	大腸菌で発現したヒト RAD50 (AA: 228-359) の精製された組み換え断片。

**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、DNA 二本鎖切断修復に関与するタンパク質であるサッカロミセス・セレビシエ (*Saccharomyces cerevisiae*) の Rad50 と非常に類似しています。このタンパク質は MRE11 および NBS1 と複合体を形成します。

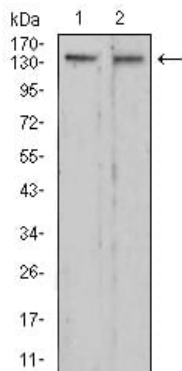
このタンパク質複合体は DNA に結合し、DNA 末端の非相同結合に必要な多数の酵素活性を示します。このタンパク質は、他のタンパク質と連携して、DNA 二本鎖切断修復、細胞周期チェックポイントの活性化、テロメアの維持、そして減数分裂組換えに重要な役割を果たします。マウスホモログのノックアウト研究では、この遺伝子が細胞の増殖と生存に不可欠であることが示唆されています。この遺伝子の変異は、ナイメーヘン切断症候群様疾患の原因となります。

## 研究分野

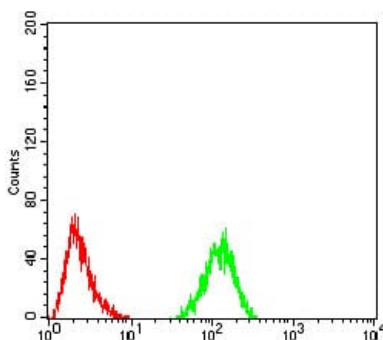
## 画像データ



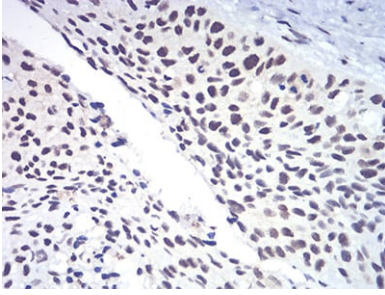
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



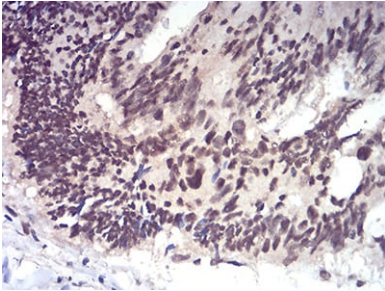
C6 (1) および HepG2 (2) 細胞溶解物に対する RAD50 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



RAD50 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



RAD50 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



RAD50 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。